■熊野川減災協議会　取組項目進捗状況アンケート結果（R5）

参考資料３

【取組機関・オブザーバー】
●：取組対象（主体）　〇：取組対象（支援・協力）　－：取組対象外
※取組対象（主体）は、取組の実施・検討に努める機関であり必ずしも必須ではない
※取組機関の「●」「〇」はR5年度の実施状況を踏まえて反映

【種別】
・基礎継続：これまでに実施してきた取組の継続・更新
・応用：これまでに実施してきた取組を応用させた取組で、具体の取組内容が概ね定まっており、目標期間内に適宜進めていく取組
・発展：これまでに実施してきた取組を発展させた取組で、具体の取組内容は未定であり、検討、調整を経て、進めていく取組

柱①：水害リスク情報等の更なる充実と自主防災意識の向上による安全な住民避難等の実践

	取組項目	種別	目標時期	取組事例・取組イメージ	取組機関：和歌山県	新宮市	田辺市	北山村	三重県	紀宝町	熊野市	気象台	近畿地整	オブザーバー：電源開発	関西電力	JR西日本
1	洪水時の河川管理者と関係市町村との連携の検証と改善	基礎継続	継続的に実施	▼洪水時のホットライン等による連携会議の検証と改善	●	●	●	－	●	●	●	〇	●	－	－	－
2	タイムラインの検証と改善及び各機関のタイムラインの共有	応用	継続的に実施	▼関係機関のタイムラインの共有・検証・改善、▼多機関連携型タイムラインの検討	●	●	●	●	●	●	●	●	●	〇	〇	〇
3	大規模水害に対する広域的な避難対策の検証	応用	継続的に実施	▼水害リスク、感染拡大防止等を踏まえた広域避難の必要性検討、▼広域避難計画の立案	〇	●	●	●	－	－	●	－	〇	－	－	－
4	水害リスク情報の充実（水害リスク空白域の解消、内外水一体・多段階型浸水想定等）・周知	応用	継続的に実施	▼内外水一体、多段階型の浸水想定区域図作成、▼水害リスク情報の空白域の解消	●	●	－	－	●	●	－	－	●	－	－	－
5	水害リスク情報を活用した水害ハザードマップの作成（更新）・周知	応用	継続的に実施	▼No4の情報を活用した水害ハザードマップの作成、▼Web版ハザードマップの展開	〇	●	●	●	〇	●	●	－	〇	－	－	－
6	不動産関連業者に対し、水害リスク情報の更なる充実と情報提供	基礎継続	継続的に実施	▼不動産業者へのNo4の情報も含めた水害リスクの情報提供	●	－	－	－	●	－	－	－	●	－	－	－
7	防災意識の向上に資する出前講座や水災害教育等の推進	基礎継続	継続的に実施	▼出前講座・防災授業等の実施	●	●	●	●	〇	●	●	〇	●	－	－	－

取組内容

	和歌山県	新宮市	田辺市	北山村	三重県	紀宝町	熊野市
1	実施中 ・関係市とのﾎｯﾄﾗｲﾝを構築済で、R5.5月の洪水対応演習時に、ﾎｯﾄﾗｲﾝの訓練を実施し、河川管理者と関係市町村で連携できることを検証済み ・令和5年6月（台風2号）及び8月（台風7号）の接近・上陸時には新宮建設部と該当市町間にてホットラインを実施し、情報共有を行った ・今後、必要に応じ改善を行っていく予定 （河川課、西牟婁建設部、新宮建設部）	実施済 洪水時のホットライン等による連携会議の検証	実施中 洪水時のホットライン等による連携会議の検証	－	実施中 県管理の水位周知河川（熊野川、板屋川）において、ホットラインを構築し、運用している。	実施中 タイムライン始動後には、連携会議を開催し、随時、検証と改善を実施している。	実施中 ・産田川、板屋川のホットラインを構築
2	実施中 ・市、国、県、気象台で新宮市タイムライン協定を締結し、共有済み ・R5.5月の洪水対応演習時に、タイムラインの項目について訓練を実施してタイムラインの検証を行った ・今後、必要に応じ改善を行っていく予定 （河川課） ・熊野川流域タイムライン（県拡大版）の作成	実施済 関係機関のタイムラインの共有・検証・改善、多機関連携型タイムラインの検討 ・熊野川流域タイムライン（県拡大版）の作成	実施中 熊野川流域タイムライン（県拡大版）の作成	実施中 熊野川流域タイムライン（県拡大版）の作成	実施中 県管理の水位周知河川（熊野川、板屋川）において、水害対応タイムラインの検証を行い、必要に応じて更新を行う。 ・熊野川流域タイムライン（県拡大版）の作成	実施中 タイムライン始動後には、連携会議を開催し、随時、検証と改善を実施している。 ・熊野川流域タイムライン（県拡大版）の作成	実施中 ・R4年度に三重県版タイムラインに合わせて熊野市版タイムラインを修正した。 ・熊野川流域タイムライン（県拡大版）の作成
3	実施中 ・地域防災計画で広域で避難者及び傷病者の受け入れ協定を締結 （関西広域連合と九州地方知事会との災害時の相互応援に関する協定等） （防災企画課）	実施済 広域避難の必要性の検討（風水害時不要）	未実施 －	未実施 －	－	－	未実施 －
4	実施中 ・R3～R4年度に水害リスク情報の空白域の解消に向け、洪水予報河川や水位周知河川以外の一級河川及び二級河川の洪水浸水想定区域図を作成し、R5年度末までに当該洪水浸水想定区域図を公表予定 ・熊野川の多段階型浸水想定区域図を作成中 （河川課）	実施済 浸水実績等の周知（ハザードマップ等）	－	－	実施済 新宮川水系の県管理河川全てにおいて、洪水浸水想定区域図の作成・公表を行う。	実施済 新宮川水系河川整備基本方針の見直しに伴う、計画規模の浸水想定区域の更新、多段階型浸水想定区域図の作成及び水害リスクマップの作成	－
5	実施中 ・水害リスク情報の空白域の解消に向け、洪水予報河川や水位周知河川以外の一級河川及び二級河川の洪水浸水想定区域図を作成後、関係市町村に提供予定 （河川課）	実施中 No4の情報を活用した水害ハザードマップ及びWeb版ハザードマップの作成	実施中 Ｒ７年度に洪水ハザードマップを更新予定	未実施 －	実施中 県HPによるハザードマップの周知。	実施済/実施中 洪水防災マップ作成済。今後、Web版ハザードマップへの展開を検討。	実施済 ・R2年度に井戸川、産田川・志原川、熊野川・板屋川版を作成し、R5年度に熊野宮川・里川・久保川・湊川・大又川・湯谷川・相ヶ谷川・小又川版を作成した。また熊野市ホームページの洪水ハザードマップを更新した。
6	実施中 ・公表済みの洪水予報河川及び水位周知河川に加え、洪水予報河川や水位周知河川以外の一級河川及び二級河川の洪水浸水想定区域図を作成後、ホームページ等で公表を行い、情報提供予定 （河川課）	－	－	－	実施済 新宮川水系の県管理河川全てにおいて、洪水浸水想定区域図の作成・公表、プレスリリースを行うとともに、作成データをオープンデータ化し、情報提供体制を構築する。	－	－
7	実施中 ・「出張！減災教室」を実施 【令和5年7月:新宮市、令和5年9月:田辺市、北山村など】 ・地域防災リーダー育成のための「紀の国防災人づくり塾」を実施 【令和5年度:紀南会場など】 ・防災授業を実施 【R5.6.9に警察（台風第2号の影響により延期）、R5.8.1に消防】 （河川課、危機管理・消防課）	実施済 出前講座の実施（随時実施）	実施済 各種団体からの希望に応じ防災学習会を実施	実施済 9月1日に実施	実施中 要請があれば、出前講座等を実施する。	実施中 継続的に実施中。	実施中 ・自主防災会、自治会等において、防災講話を実施

	和歌山地方気象台	津地方気象台	近畿地整	オブザーバー：電源開発	関西電力	JR西日本
1	未実施 －	実施中 実施の機会なし。	実施中 紀宝町タイムライン連携会議の実施台風２号、台風７号時でのホットライン実施	－	－	－
2	実施中 熊野川流域タイムライン（県拡大版）の作成	実施中 熊野川流域タイムライン（県拡大版）の作成	実施中 熊野川流域タイムライン（県拡大版）の作成及び流域タイムラインによるWEB会議による危機管理の共有の実施（台風２号、台風６号）	実施中 熊野川流域タイムライン（県拡大版）の作成	実施中 熊野川流域タイムライン（県拡大版）の作成	実施中 熊野川流域タイムライン（県拡大版）の作成
3	－	－	未実施 －	－	－	－
4	－	－	実施済 新宮川水系河川整備基本方針の見直しに伴う、計画規模の浸水想定区域の更新、多段階型浸水想定区域図の作成及び水害リスクマップの作成	－	－	－
5	－	－	実施中 No.4見直しによる浸水ナビ等更新	－	－	－
6	－	－	実施中 不動産業者へ情報提供済（問い合わせ等）	－	－	－
7	実施中 依頼のあった連絡会などに出前講座を実施。	実施中 市町職員の防災担当者向けには、防災研修や気象防災ワークショップを実施、依頼のあった学校や自治会等、自治体が主催する防災イベントにおいて出前講座を実施している。	実施中 R5.2.24熊野川中学校防災授業実施済及びR5.12.6熊野川中学校防災授業実施	－	－	－

【取組機関・オブザーバー】

●:取組対象（主体） ○:取組対象（支援・協力） －:取組対象外

※取組対象（主体）は、取組の実施・検討に努める機関であり必ずしも必須ではない

※取組機関の「●」「○」はR5年度の実施状況を踏まえて反映

【種別】

・基礎継続:これまでに実施してきた取組の継続・更新

・応用:これまでに実施してきた取組を応用させた取組で、具体の取組内容が概ね定まっており、目標期間内に適宜進めていく取組

・発展:これまでに実施してきた取組を発展させた取組で、具体の取組内容は未定であり、検討、調整を経て、進めていく取組

	取組項目	種別	目標時期	取組事例・取組イメージ	取組機関								オブザーバー			取組内容										オブザーバー		
					和歌山県	新宮市	田辺市	北山村	三重県	紀宝町	熊野市	気象台	近畿地整	電源開発	関西電力	ＪＲ西日本	和歌山県	新宮市	田辺市	北山村	三重県	紀宝町	熊野市	地方気象台	津地方気象台	近畿地整	電源開発	関西電力	ＪＲ西日本
8	平時からの適切な避難行動に資する取組の推進	基礎継続	継続的に実施	▼避難訓練・防災訓練、▼避難対策ワークショップ、▼まるまち、▼避難誘導表示版設置、等	●	●	●	●	－	●	●	－	○	－	－	－	実施中 ・市町村における「避難対策ワークショップ」の開催を支援 【令和5年度予定：新宮市（水害・土砂災害）、北山村（水害・土砂災害）など】 ・市町村が実施する避難誘導灯の設置など避難路整備に対して「わかやま防災力パワーアップ補助金」にて支援 （防災企画課）	実施済 避難所看板の設置	実施済 市の防災訓練のほか、各自主防災会での訓練を実施する	未実施 検討中	－	実施中 継続的に実施中。	実施中 ・R4年度は井戸川流域で「Myまっぷランキング」を実施しマイタイムライン作成。R5年度は紀和町板屋川流域で実施。	－	－	実施中 各市町等への防災訓練への参加	－	－	－
9	要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進や避難の実効性確保に資する取組の推進	基礎継続	継続的に実施	▼要配慮者利用施設管理者への説明会、▼要配慮者利用施設での避難確保計画の作成、▼避難訓練の実施	○	●	●	－	○	●	－	○	○	－	－	－	実施中 ・市町村地域防災計画に要配慮者利用施設が記載されていない場合は、適宜指導 ・市町村に対し、定期的に避難確保計画、避難訓練の実施状況の調査を行い、避難確保計画の作成等を促した。また、説明会の開催時などあらゆる機会を通じて、施設管理者の取組を確認・指導 （河川課、防災企画課）	実施済 要配慮者利用施設での避難確保計画の作成、避難訓練の実施	実施済 要配慮者利用施設での避難確保計画の作成、避難訓練の実施	－	実施中 避難確保計画の策定及び訓練の実施を呼びかける。	実施中 避難確保計画に基づく避難訓練を推進する。	－	－	実施中 三重県民生委員児童委員協議会の会長研修会や三重県聴覚障害者協会主催のイベントにおいて、防災情報の利活用に関する講演を行っている。	実施中 要配慮者利用施設における避難確保計画の作成支援の実施	－	－	－
10	共助に関する取組事例の共有、取組強化	基礎継続	継続的に実施	▼自主防災活動の手引き作成、▼自主防災組織が行う訓練等の支援	－	●	●	●	－	●	●	－	○	－	－	－	－	実施済 自主防災活動の手引き作成	実施済 地域の自主防災組織が行う訓練や資機材等の整備などの活動を自主防災組織育成事業等補助金により支援	実施中 検討中（R4）	－	実施中 各自主防災組織が行う防災訓練等の支援・協力を実施中。	実施中 ・市内自主防災組織が行う訓練等の支援実施	－	－	未実施 －	－	－	－
11	コミュニティタイムラインやマイ・タイムラインの普及・促進	応用	継続的に実施	▼紀宝町地区タイムラインの展開、▼マイ・タイムラインの作成支援	●	●	●	●	●	●	●	○	●	－	－	－	実施中 ・マイ・タイムラインの作成を促進するため、市町村における「避難対策ワークショップ」の開催を支援 【令和5年度予定：新宮市（水害・土砂災害）、北山村（水害・土砂災害）など】 （防災企画課）	実施済 ハザードマップの利用（個人での記入等作業ヶ所有）推進による個別の計画作成	未実施 －	未実施 －	実施中 県災害対策本部及び熊野地方部におけるタイムラインの作成。	実施中 継続的に未策定地区の地区タイムライン策定に向けて、普及・促進を実施中。	実施中 ・R4年度は井戸川流域で「Myまっぷランキング」を実施しマイタイムライン作成。R5年度は紀和町板屋川流域で実施。	実施中 実施する機会がなかった。（R4）	実施中 台風第7号に伴う紀宝町タイムライン連携会議において、気象解説を実施した。	実施済 高齢者福祉施設のタイムライン作成支援	－	－	－
12	SNS等を活用したリスクコミュニケーションの検討	発展	継続的に実施	▼SNS等を活用した即時性の高い情報発信・共有・活用方策の検討	●	●	●	●	●	●	●	●	●	－	－	－	実施中 ・プッシュ型で情報発信が可能な防災ポータルアプリ「和歌山県防災ナビ」を開発 ・X（旧Twitter）を活用した情報発信 （防災企画課、災害対策課）	実施済 SNS（LINE、Facebook、Xなど）による防災情報の発信	実施済 防災メールや市公式ＳＮＳ等で防災情報を提供	実施済 lineによる情報発信・共有	実施中 県災害対策本部によるSNS（Twitter等）の運用。	実施中 Twitterや町HP、メールによる防災無線放送内容配信中。	実施中 ・防災行政無線と連携したSNS（LINE）による情報発信を実施	実施中 本庁及び大阪管区気象台が、X（旧Twitter）による発信を実施中	実施中 気象庁において、X（旧Twitter）による防災情報の活用について発信を行っている。	実施中 事務所Twiiterで水防警報、洪水予報、発信時や一定雨量以上等の雨量情報等を提供	－	－	－
13	感染症拡大防止等を考慮した避難施設（民間施設等を活用した緊急的な避難先を含む）の充実	応用	継続的に実施	▼避難所・避難路の整備、▼高台整備、▼避難所内の設備充実	○	●	●	●	○	●	●	－	○	－	－	－	実施中 ・市町村が実施する避難路整備や避難所に必要な物資の整備費用に対して「わかやま防災力パワーアップ補助金」にて支援 （防災企画課）	実施済 避難所装備（感染症対策）の充実、多様な避難先の確保（ホテル避難への補助）	実施中 避難所内の設備充実	実施済 感染症対策備品の備蓄	実施中 県補助金により各市町における避難所の感染防止対策に必要な資機材の整備について支援する。	実施中 継続的に避難路や高台整備、設備の充実を実施中。	実施中 ・間仕切り、簡易ベッドなど感染症対策を考慮した避難所施設の充実を図る	－	－	実施中 掘削土砂の受入地として、高台を整備	－	－	－
14	感染症拡大防止を考慮した防災行動計画や避難計画等の更新と訓練の実施	応用	継続的に実施	▼避難計画、タイムラインの更新、▼感染症拡大に配慮した避難所訓練の実施	○	●	●	●	○	●	●	－	○	－	－	－	実施中 ・「市町村避難所運営マニュアル作成モデル」を策定し、感染症拡大防止等を考慮した避難所運営について市町村に周知 （河川課、防災企画課）	実施済 避難所の感染症対策マニュアルの作成とそれに基づく避難所設置・受入訓練の実施	実施済 避難所運営マニュアルを改訂し、避難所の感染症対策に配慮した避難所訓練の実施	実施済 更新完了したので、訓練の検討中	実施中 県が作成する「避難所運営マニュアル策定指針」等に基づき、各市町の感染防止対策をふまえた避難所運営の実施を支援する。	実施中 継続的に実施中。	実施中 ・R4年度紀和町板屋川流域で感染症拡大防止を考慮した避難所運営マニュアル作成。R5は有馬小学校の避難所運営マニュアルを作成中。	－	－	未実施 －	－	－	－

■熊野川減災協議会　取組項目進捗状況アンケート結果（R5）

【取組機関・オブザーバー】

●:取組対象（主体）　○:取組対象（支援・協力）　－:取組対象外

※取組対象（主体）は、取組の実施・検討に努める機関であり必ずしも必須ではない
※取組機関の「●」「○」はR5年度の実施状況を踏まえて反映

【種別】

・基礎継続:これまでに実施してきた取組の継続・更新
・応用:これまでに実施してきた取組を応用させた取組で、具体の取組内容が概ね定まっており、目標期間内に適宜進めていく取組
・発展:これまでに実施してきた取組を発展させた取組で、具体の取組内容は未定であり、検討、調整を経て、進めていく取組

	取組項目	種別	目標時期	取組事例・取組イメージ	取組機関									オブザーバー			取組内容										オブザーバー		
					和歌山県	新宮市	田辺市	北山村	三重県	紀宝町	熊野市	気象台	近畿地整	電源開発	関西電力	JR西日本	和歌山県	新宮市	田辺市	北山村	三重県	紀宝町	熊野市	和歌山地方気象台	津地方気象台	近畿地整	電源開発	関西電力	JR西日本
柱②:情報の一元化や情報発信の見える化等による情報伝達体制の高度化・効率化																													
15	ICT等を活用した効果的な情報提供の継続・推進	基礎継続	継続的に実施	▼緊急速報メール等のプッシュ型での情報提供、▼SNS等での情報提供	●	●	●	●	●	●	●	●	●	－	－	－	実施中 ・和歌山県防災ナビアプリで河川水位情報、土砂災害危険度情報等を配信 ・防災わかやまウェブページで指定河川洪水情報を配信 ・防災わかやまメールで河川洪水予報、河川水位情報を配信 ・緊急速報メールで避難情報を周知する（指定河川洪水警報が発表され、併せて避難情報が発表され、該当市町村からの配信の要望があったとき配信） ・X（旧Twitter）を活用した情報発信 （防災企画課）	実施済 避難情報等の緊急速報メールのプッシュ型情報提供、SNS等での情報提供	実施済 防災メールや市公式ＳＮＳ等で防災情報を提供	実施済 lineによる情報提供	実施中 メールやSNSでの情報提供。	実施中 防災タブレットを全自主防災組織に配布。台風などの最新情報をいち早く得ることができる。	実施中 ・防災行政無線と連携したSNS（LINE）による情報発信を実施	実施中 民間事業者と連携して、自分が登録した地域がキキクルで危険度が高まった場合や警報等が発表された場合に自動で通知するサービスを提供	実施中 気象庁の防災情報提供システムにおいて、メールによるプッシュ型の防災情報の提供を行っている。	実施済 氾濫危険情報を出す際に緊急速報メールを実施 事務所Twiterで水防警報、洪水予報、発信時や一定雨量以上等の雨量情報等を提供	－	－	－
16	避難行動、水防活動に繋がる観測施設（水位計、雨量計、河川監視用カメラ）等の整備・配信	基礎継続	継続的に実施	▼危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラ等の整備・配信、▼避難目安水位ラインの整備・周知	●	●	●	●	●	●	－	－	●	－	－	－	実施中 ・県ホームページの「和歌山県河川／雨量防災情報」で、リアルタイムの水位や避難判断水位等の情報及びカメラ画像を配信中 ・熊野川（本宮区間）大居、熊野川（日足区間）宮井及び北山川七色に河川監視カメラを設置済み。今後、要望等により必要に応じ設置予定 （河川課）	実施済 河川監視カメラの整備（9台）内2台の外部公開（HP上）	実施済 水位計・河川監視カメラ等の整備	実施済 リアルタイムによる河川監視カメラ	実施中 危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラを整備・配信する。	実施中 防災タブレットを全自主防災組織に配布したことで、紀宝町防災情報共有システムから雨量・水位・ダム・防災カメラで状況をいち早く情報配信ができる。	－	－	－	実施済 危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラの整備・配信済 避難目安水位ライン（成川・高岡・下田）の整備・周知済	－	－	－
17	各管理者の情報を効果的に配信できる仕組みの必要性の確認と構築	応用	継続的に実施	▼関係機関の減災に資する平時からの取組、洪水時の対応状況、水防資機材の状況等の情報を共有する必要性や仕組みの確認・構築	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	実施中 ・水防計画により水防資機材の状況や取組を共有する仕組みとして構築 ・水防資機材の情報は、毎年水防計画書を更新し、その度共有 （河川課）	実施済 平時からの河川管理者との情報共有等	実施中 関係機関の減災に資する平時からの取組、洪水時の対応状況、水防資機材の状況等の情報を共有を図っている	未実施 －	未実施 検討中	実施中 継続的に実施中。	実施中 ・R4年度防災情報集約システムを導入した。	実施済 気象台と河川管理者と共同で、洪水演習を実施	実施中 毎年、気象台と河川管理者と共同で、洪水演習を実施している。	実施済 洪水予報連絡会幹事会（対面）による関係機関との洪水情報等の共有を実施	実施済 ダム放流に関する情報伝達ルート多重化（2013開始～2016完了） ダム放流に関する通知・通報先（行政 4箇所、警察・消防 5箇所）を追加（2012.9完了） 放流量による警報サイレン吹鳴頻度を増加（2013開始～2015完了）	未実施 関西電力として各管理者の情報を配信する仕組みの必要性はない。	未実施 特になし
18	雨量・水位・ダム放流情報等の一元化の検討	応用	継続的に実施	▼熊野川流域での雨量・水位・ダム放流等の一元化、▼各情報の効率的・実用的な活用方法の検討	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	－	実施済 ・「和歌山県河川／雨量防災情報」で、水位情報やカメラ画像を一元化して効率的・実用的に配信中 （河川課）	実施済 関係機関が集約した情報サイトを避難情報発出の際などに活用	未実施 基本的には和歌山県河川雨量防災情報により情報取得しているが、市の観測データとの一元化には至っていない	未実施 －	実施済 川の防災情報へ雨量・水位等の情報を掲載する。	実施中 紀宝町防災情報提供システムにより、雨量・水位・ダム放流情報等の一元化済。	未実施 －	実施済 気象庁の洪水キキクルと国交省の水害リスクラインの表示を統合することで危険度情報を一体的に発信している。	実施済 気象庁の洪水キキクルと国交省の水害リスクラインの表示を統合することで危険度情報を一体的に発信している。	実施中 川の防災情報における情報提供	実施済 国土交通省「川の防災情報」へダム情報を提供（2012.6完了） 和歌山県「和歌山県情報館 雨量水位情報」は上記を経由（同年10月から）	実施中 「既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた基本方針」に基づき、河川管理者へのダム情報の整備（情報の発信）を検討、協議中。	－
19	ダム放流による水位変動見込み等の情報提供の検討	応用	継続的に実施	▼ダム放流見込みによる下流区間水位の影響検討、▼今後のダム放流見込みの共有方法の調整・検討	●	－	－	－	●	－	－	－	●	○	○	－	実施中 ・二津野ダム、小森ダム、七色ダム、池原ダム（電源開発（株））の放流見込み情報をFAXで共有し、関係機関で共有 ・今後、国からの予測水位の情報提供を受け、ダム放流を見込んだ水位予測を検討 （河川課）	－	－	－	実施中 ダム洪水調節機能協議会に参画し、協議会の中で検討する。	－	－	－	－	未実施 －	実施中 関係機関への通知・通報時にダム放流量の見通し（増加、横ばい、減少）を連絡（従前より実施） 数時間後の予測ダム放流量について、降雨・流入予測技術の高度化を見据えながら継続検討中	実施中 ダム操作規程に基づき関係機関に通知、通報を実施。	－

【取組機関・オブザーバー】

●:取組対象(主体)　○:取組対象(支援・協力)　－:取組対象外

※取組対象(主体)は、取組の実施・検討に努める機関であり必ずしも必須ではない

※取組機関の「●」「○」はR5年度の実施状況を踏まえて反映

【種別】

・基礎継続:これまでに実施してきた取組の継続・更新

・応用:これまでに実施してきた取組を応用させた取組で、具体の取組内容が概ね定まっており、目標期間内に適宜進めていく取組

・発展:これまでに実施してきた取組を発展させた取組で、具体の取組内容は未定であり、検討、調整を経て、進めていく取組

	取組項目	種別	目標時期	取組事例・取組イメージ	取組機関								オブザーバー			取組内容										オブザーバー		
					和歌山県	新宮市	田辺市	北山村	三重県	紀宝町	熊野市	気象台	近畿地整	電源開発	関西電力	JR西日本	和歌山県	新宮市	田辺市	北山村	三重県	紀宝町	熊野市	地方気象台	津地方気象台	近畿地整	電源開発	関西電力	JR西日本
20	洪水予測の周知・活用と予測技術の向上(水位予測、氾濫予測、長時間予測等)	応用	継続的に実施	▼幅を持った水位予測、▼予測の長時間化、▼リアルタイム氾濫予測、▼ダム運用、避難、水防等での活用検討	●	－	－	－	●	－	－	●	●	－	－	－	実施中 ・熊野川において、洪水予報（水位予測）を行い、出水時に関係機関へ周知 ・今後、国からの予測水位の情報提供を受け、予測の長時間化をすることで、避難や水防に活用することを検討中 （河川課）	－	－	－	実施中 一級水系の本川・支川が一体となった洪水予測モデルを構築する。	－	－	実施中 雨量予測データを提供している。	実施中 水位予測に用いる雨量予測のデータを気象庁から提供している。	実施中 水害リスクラインにおける水位予測	－	－	－
21	鉄道事業者との連携による社会経済被害最小化に繋げる検討及び実践	応用	継続的に実施	▼洪水予測の鉄道事業者への提供、▼鉄道事業者の防災行動計画作成支援	－	○	－	－	－	○	－	○	●	－	－	○	－	実施済 地域防災計画への鉄道事業者の防災行動計画の記載・検討	－	－	－	実施中 洪水防災マップをＨＰにより、情報提供。	－	－	実施中 近鉄、三岐鉄道、伊勢湾フェリーと勉強会を実施し、防災情報の利活用についての説明を行っている。	未実施 流域タイムラインによる県区間等の拡充等で鉄道事業者との参画を検討し、水位見通しの提供等を検討	－	－	未実施 今後必要な事柄があれば意見等交わしていきたい
22	メディアとの連携による避難に資する河川情報提供の検討及び実践	応用	継続的に実施	▼メディアとの連携による切迫した河川情報の配信、呼びかけの工夫、▼『和歌山県域メディア協議会（仮称）』での取組検討・実践	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	－	実施中 ・R5.8.3に『和歌山県域メディア連携協議会（勉強会）』を実施し、河川情報提供に係る協議を行った ・切迫した水害時を想定し、報道訓練や中継訓練の実施、及び専門職員の解説について検討中 （河川課）	実施済 防災情報システムのLアラート情報連携機能による情報提供	未実施 －	未実施 －	未実施 検討中	未実施 －	未実施 －	実施中 －	実施中 NHKのデータ放送において、毎月気象台から情報提供を行っている。	実施中 和歌山県域メディア連携協議会を実施中	実施済み ・・ダム放流量等の情報を関係行政等へ提供済（R4） ・上記取組の他、具体的計画はない（R5）	未実施 関西電力として主体的に実施する内容はない。	－
23	リスク情報や治水事業効果の見える化	発展	継続的に実施	▼ハザードマップの3次元化、▼VR技術の活用	●	●	●	●	●	●	●	○	●	－	－	－	未実施 － （河川課）	実施済 ジオラマ（国作成浸水モデル）の活用によるリスク情報や治水事業効果の周知	未実施 －	未実施 －	未実施 －	未実施 －	未実施 －	未実施 －	未実施 実施する機会なし。	実施中 ３次元化浸水想定区域の作成、DXルーム（事務所、出張所）の活用	－	－	－

■熊野川減災協議会　取組項目進捗状況アンケート結果（R5）

【取組機関・オブザーバー】

●：取組対象（主体）　○：取組対象（支援・協力）　－：取組対象外

※取組対象（主体）は、取組の実施・検討に努める機関であり必ずしも必須ではない

※取組機関の「●」「○」はR5年度の実施状況を踏まえて反映

【種別】

・基礎継続：これまでに実施してきた取組の継続・更新

・応用：これまでに実施してきた取組を応用させた取組で、具体の取組内容が概ね定まっており、目標期間内に適宜進めていく取組

・発展：これまでに実施してきた取組を発展させた取組で、具体の取組内容は未定であり、検討、調整を経て、進めていく取組

	取組項目	種別	目標時期	取組事例・取組イメージ	取組機関								オブザーバー			取組内容										オブザーバー		
					和歌山県	新宮市	田辺市	北山村	三重県	紀宝町	熊野市	気象台	近畿地整	電源開発	関西電力	ＪＲ西日本	和歌山県	新宮市	田辺市	北山村	三重県	紀宝町	熊野市	地方気象台 和歌山	津地方気象台	近畿地整	電源開発	関西電力	ＪＲ西日本
柱③：地域との連携強化による迅速かつ効果的な水防活動の実践																													
24	消防団等への連絡体制の定期的な確認と伝達訓練の実施	基礎継続	継続的に実施	▼消防団との情報伝達訓練、▼消防団の連絡体制の確認・強化	－	●	●	●	－	●	●	●	●	－	－	－	－	実施済 配布の戸別受信機による情報伝達確認（月1回）	実施済 連絡体制の確認、情報伝達訓練	実施済 lineによる伝達を主とする 訓練は未実施	－	実施中 継続的に実施中。	実施済 ・方面隊訓練の中で情報伝達訓練も行っている。 ・年度初めに消防団幹部の連絡先確認を行っている。 ・火災等の事案発生情報を消防団幹部へメール配信している。	実施済 洪水予報の部外伝達演習を実施（5月12日）	実施中 毎年、気象台と河川管理者と共同で行う洪水演習に併せて、関係機関の伝達訓練も行われる。	実施中 洪水予報連絡会幹事会や水防警報等を通じて確認・強化している	－	－	－
25	必要な水防資機材の配備	基礎継続	継続的に実施	▼必要な水防資機材の確認・検討・補充	●	●	●	●	●	●	●	－	●	－	－	－	実施中 ・新宮建設部にエンジンポンプ（3.2m3/分）5基を配備済 ・１～２か月毎に動作確認を実施し、必要に応じ燃料等の補充 ・令和5年8月の台風7号の実績降雨に対し、エンジンポンプの必要配備基数について、確認 （河川課、新宮建設部）	実施済 必要な水防資機材の確認・検討・補充	実施済 －	実施済 必要資機材において、常時検討中	実施中 年に1回程度保有数を確認し、必要に応じて補充する。	実施中 継続的に実施中。	実施済 ライフジャケットを各分団に配布している。	－	－	実施中 必要な水防資機材の確認・補充を実施	－	－	－
26	関係機関と連携した実働水防演習の実施・継続	基礎継続	継続的に実施	▼地域（行政、消防団等）での水防演習の実施、▼流域での多機関連携による水防演習の実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	－	－	－	実施済 R4.5.28 国、県、市町村、消防団等の関係機関と熊野川総合水防演習を実施 （河川課、災害対策課）	実施済 総合水防演習への参加	実施済 ・消防団における水防訓練の実施 ・R4.5.28 国、県、市町村、消防団等の関係機関と熊野川総合水防演習を実施	実施中 R4.5.28 国、県、市町村、消防団等の関係機関と熊野川総合水防演習を実施	実施済 R4に近畿地整、和歌山県、関係市町村等と連携し、熊野川総合水防演習を実施。	実施中 ・紀宝町消防団において、水防工法訓練を実施予定。 ・R4.5.28 国、県、市町村、消防団等の関係機関と熊野川総合水防演習を実施	実施中 ・今年度の実施予定はない。 ・R4.5.28 国、県、市町村、消防団等の関係機関と熊野川総合水防演習を実施	実施済 ・洪水予報の部外伝達演習を実施（5月12日） ・R4.5.28 国、県、市町村、消防団等の関係機関と熊野川総合水防演習を実施	実施中 実施の機会なし。	実施済 熊野川総合水防演習の実施	－	－	－
27	消防団等の避難場所の確保	基礎継続	継続的に実施	▼水防活動、避難経路等を踏まえた避難場所の検討、確保	－	●	－	－	－	●	●	－	－	－	－	－	－	実施済 水防活動、避難経路等を踏まえた避難場所の検討、確保、退避基準の設定	－	－	－	実施中 継続的に実施中。	未実施 水防活動時における避難場所等の定めは行っていないが、各分団で安全確保に努めていただいている。	－	－	－	－	－	－
28	水防協力団体の募集・指定を促進	基礎継続	継続的に実施	▼消防団の募集促進、▼ホームページ、広報誌への掲載	－	●	●	●	－	●	●	－	－	－	－	－	－	実施済 消防団の募集促進、ホームページ、広報誌への掲載	実施済 ポスター掲示及び配付 HP等での広報	未実施 －	－	実施中 継続的に実施中。	実施中 主に各分団長に地域で入団の促進を行っていただいている。	－	－	－	－	－	－
29	消防団や地域住民が参加した重要水防箇所及び水防資材の共同点検等の実施	基礎継続	継続的に実施	▼関係者による重要水防箇所や水防資機材等の現地確認、▼重要水防箇所の更新・周知	－	●	●	●	－	●	●	－	●	－	－	－	－	実施中 関係者による重要水防箇所や水防資機材等の現地確認	実施済 関係者による重要水防箇所や水防資機材等の現地確認	実施中 常時確認・更新中（R4）	－	実施中 継続的に実施中。	実施済 各分団により年１回資機材点検を実施している。	－	－	実施中 洪水予報連絡会幹事会及び事務所ＨＰ、県水防計画に重要水防箇所の更新周知を実施	－	－	－
30	庁舎、災害拠点病院等に関する水害リスク情報の共有	基礎継続	継続的に実施	▼No4の情報も含めた情報共有、▼管理者への水災害リスク情報の説明	●	●	●	●	－	●	－	－	－	－	－	－	実施中 ・本庁、振興局庁舎においては、水害時でも災害対応できるよう説明し、対応済み（浸水想定区域内であっても本部機能は２階以上に置くなど） ・水害リスク情報の空白域に向け、洪水予報河川や水位周知河川以外の一級河川及び二級河川の洪水浸水想定区域図を作成後、関係市町村に提供し情報共有を予定 （河川課、災害対策課）	実施中 No4の情報も含めた情報共有とそれを踏まえた研修等の実施	実施済 洪水ハザードマップ等の情報提供	未実施 －	－	実施中 継続的に実施中。	－	－	－	－	－	－	－
31	大規模水災害発生時の庁舎等の機能維持及び重要資機材への影響の確認と有効な対策の実施	**応用**	継続的に実施	▼施設の建て替え、▼防災拠点施設の整備	－	－	－	－	－	●	－	－	●	－	－	－	－	－	－	－	－	実施済 防災拠点施設を整備済。	－	－	－	実施済 本局の庁舎移転実施（大手前合同庁舎）	－	－	－

■熊野川減災協議会　取組項目進捗状況アンケート結果（R5）

【取組機関・オブザーバー】

●：取組対象（主体）　○：取組対象（支援・協力）　－：取組対象外

※取組対象（主体）は、取組の実施・検討に努める機関であり必ずしも必須ではない

※取組機関の「●」「○」はR5年度の実施状況を踏まえて反映

【種別】

・基礎継続：これまでに実施してきた取組の継続・更新

・応用：これまでに実施してきた取組を応用させた取組で、具体の取組内容が概ね定まっており、目標期間内に適宜進めていく取組

・発展：これまでに実施してきた取組を発展させた取組で、具体の取組内容は未定であり、検討、調整を経て、進めていく取組

	取組項目	種別	目標時期	取組事例・取組イメージ	取組機関								オブザーバー			取組内容										オブザーバー		
					和歌山県	新宮市	田辺市	北山村	三重県	紀宝町	熊野市	気象台	近畿地整	電源開発	関西電力	JR西日本	和歌山県	新宮市	田辺市	北山村	三重県	紀宝町	熊野市	和歌山地方気象台	津地方気象台	近畿地整	電源開発	関西電力	JR西日本
柱④：氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策の推進																													
32	河道掘削・低水護岸整備・堤防整備等の継続	基礎継続	継続的に実施	▼熊野川（直轄区間）河道掘削、▼築堤・護岸整備、▼沿川道路・背後地嵩上げ	●	－	●	－	●	－	－	－	●	－	－	－	実施中 ・熊野川：整備計画区間にて、輪中堤、河道掘削を実施中。 ・佐野川：整備計画区間にて、護岸整備、河道掘削を実施中 （河川課）	－	実施中 八木尾谷川の浚渫をR6まで実施	－	実施済 熊野川（県管理区間）については、令和３年に整備計画に基づく河道掘削を実施済み。 令和５年度は熊野川本川（県管理区間）の紀和町和気地区にて河道掘削を実施予定。 令和４年度より支川の北山川等において河道の維持掘削を実施済み。 令和５年度は、支川の板屋川にて河道掘削を実施予定。	－	－	－	－	実施中 あけぼの・鵜殿地区河道掘削の実施	－	－	－
33	粘り強い堤防整備等の危機管理型ハード対策の検討・実施	発展	継続的に実施	▼越水時に決壊しにくい堤防構造の検討・実施	－	－	－	－	●	－	－	－	●	－	－	－	－	－	－	－	実施中 北山川において、令和3年度より堤防強化事業に取り組んでおり、今後も継続して実施する。	－	－	－	－	未実施 －	－	－	－
34	市田川流域大規模浸水対策など内水対策（ハード対策）の実施	基礎継続	継続的に実施	▼雨水排水ポンプの整備、▼都市下水路整備の検討・実施	○	●	－	－	－	●	－	－	○	－	－	－	実施済 ・浮島川排水機場の排水機能の強化のため、補助ポンプ整備済 （河川課）	実施済 雨水排水ポンプ増強（2.0m3/s）R6完成予定	－	－	－	実施中 成川深谷地区浸水対策事業の実施中。	－	－	－	実施中 市田川排水機場ポンプ増強	－	－	－
35	砂防事業の継続	基礎継続	継続的に実施	▼砂防堰堤の整備、▼砂防施設の維持管理	●	－	－	－	●	－	－	－	－	－	－	－	実施中 ・土石流等土砂災害の危険性のある渓流等に砂防施設を整備 （砂防課）	－	－	－	実施中 流域内の５渓流において砂防事業を実施中。	－	－	－	－	－	－	－	－
36	利水ダム事前放流の実施や流域での雨水貯留機能の向上	応用	継続的に実施	▼ダム管理者と連携した利水ダム事前放流の運用、▼雨水貯留浸透施設整備の検討・実施	○	●	●	●	○	●	●	－	○	○	○	－	実施中 各協議会において構成員として参画し、取組を支援・協力 ・熊野川減災協議会（R5.2.24） ・新宮川水系ダム洪水調節機能協議会（R5.6.13） ・熊野川の総合的な治水対策協議会（R5.1.18） ・熊野川流域治水協議会（R5.2.24） （河川課）	実施済 雨水貯留浸透施設整備の検討・実施 （王子ヶ浜小、緑丘中→完了、蓬莱グラウンド→R5年度完成予定）	実施中 ダム管理者と連携した利水ダム事前放流の運用	未実施 ダム管理者による事前放流が行われている。 連携等は行っていない。	実施中 必要に応じて、事前放流をより効果的に行えるよう情報提供を行う。	実施中 継続的に実施中。	実施中 ・ダム管理者と事前放流の情報共有を行っている	－	－	実施中 新宮川水系洪水調節機能協議会でダム管理者と連携した利水ダム事前放流の運用を実施	実施中 2012.6から自主的に放流量を低減する運用「暫定運用」を開始 2020.5締結の治水協定に基づく事前放流を開始 （方法は暫定運用と同じ）	実施中 治水協定に基づき策定した治水協力実施要領に基づく運用を実施中。	－
37	水防拠点・河川防災ステーションの検討・調整及び整備の実施	応用	継続的に実施	▼河川防災ステーション整備の検討・調整・実施	－	－	－	－	－	－	－	－	●	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	未実施 －	－	－	－
38	水防資機材の搬入路の検討及び整備の実施	応用	継続的に実施	▼搬入路の検討、▼搬入路の拡幅・補強・新設等	●	●	●	●	●	●	●	－	●	－	－	－	実施中 ・重要水防箇所の点検時、通路となる河川への昇降路（搬入路）を併せて点検 （建設部）	実施済 搬入路等の検討	実施済 搬入路の検討	実施済 おくとろ道路3期工事による実施中	実施中 搬入路必要箇所の判断基準はあるのか。また、堀込河道区間においても検討は必要か。	実施済 水防資機材倉庫の搬入路の舗装整備を実施。	未実施 －	－	－	未実施 －	－	－	－

■熊野川減災協議会　取組項目進捗状況アンケート結果（R5）

【取組機関・オブザーバー】

●：取組対象（主体）　○：取組対象（支援・協力）　－：取組対象外

※取組対象（主体）は、取組の実施・検討に努める機関であり必ずしも必須ではない

※取組機関の「●」「○」はR5年度の実施状況を踏まえて反映

【種別】

・基礎継続：これまでに実施してきた取組の継続・更新

・応用：これまでに実施してきた取組を応用させた取組で、具体の取組内容が概ね定まっており、目標期間内に適宜進めていく取組

・発展：これまでに実施してきた取組を発展させた取組で、具体の取組内容は未定であり、検討、調整を経て、進めていく取組

	取組項目	種別	目標時期	取組事例・取組イメージ	取組機関								オブザーバー			取組内容										オブザーバー		
					和歌山県	新宮市	田辺市	北山村	三重県	紀宝町	熊野市	気象台	近畿地整	電源開発	関西電力	JR西日本	和歌山県	新宮市	田辺市	北山村	三重県	紀宝町	熊野市	地方気象台	和歌山津地方気象台	近畿地整	電源開発	関西電力	JR西日本
柱⑤：生活再建、社会経済活動を一刻も早く回復させるための排水活動・復旧・復興の実現																													
39	排水施設の確実かつ的確な運用に資する施設整備・維持管理	基礎継続	継続的に実施	▼排水施設の点検、維持管理、▼水門・樋門の自動化、▼排水施設の耐水化、▼水門・樋門の操作演習	●	●	●	－	●	●	－	－	●	－	－	－	実施中 ・浮島川排水機場の月2回の動作確認、月1回の電気設備点検を実施 （河川課、新宮建設部）	実施済 排水施設の点検、維持管理、水門・樋門の操作研修	実施中 萩樋門、排水ポンプ施設の維持管理	－	実施中 年に1回点検を行う。	実施中 毎年、排水施設の点検・維持管理・操作訓練等を実施。	－	－	－	実施中 施設点検維持管理を実施、緊急地震速報時での水門・樋門の自動閉鎖訓練を実施、樋門操作講習会で水門・樋門操作を実施	－	－	－
40	排水訓練の継続及び検証、改善	基礎継続	継続的に実施	▼排水ポンプ車配置訓練の実施、▼可搬式ポンプの使用訓練、▼排水計画の見直し	－	●	●	●	－	●	－	－	●	－	－	－	－	実施済 可搬式ポンプの点検及び使用訓練	未実施 検討段階に至っていない	未実施 －	－	実施中 継続的に実施中。	－	－	－	実施中 排水ポンプ車の使用訓練の実施	－	－	－
41	災害廃棄物処理計画の策定・改定	基礎継続	継続的に実施	▼災害廃棄物処理計画の策定、▼必要に応じた既存計画の改定	●	●	●	●	●	●	●	－	－	－	－	－	実施済 ・災害廃棄物処理計画を策定済み （循環型社会推進課）	実施済 災害廃棄物処理計画の策定（R3）	実施済 令和３年６月に策定済み今後必要に応じ見直していく	未実施 －	実施中 必要に応じて三重県災害廃棄物処理計画を改定する。	実施済 紀宝町災害廃棄物処理計画の策定済。	実施中 ・熊野市災害廃棄物処理計画策定済	－	－	－	－	－	－
42	災害復旧のための自衛隊・水防団・報道機関との連携強化に資する取組	応用	継続的に実施	▼平時からの情報共有・連絡体制の確立、▼大規模災害発生を見据えた防災訓練等の実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	－	－	－	実施済 ・R4.5.28 国、県、市町村、水防団等の関係機関と熊野川総合水防演習により防災・災害復旧に係る連携強化を図った ・陸上自衛隊等も参加の「和歌山県総合防災訓練」（R5.11.3～4）や「災害対策本部総合統制室運営図上訓練」（R5.6.26～28）を実施 （河川課、防災企画課）	実施済 ・平時からの情報共有・連絡体制の確立 総合防災訓練の実施 （R3） ・R4.5.28 国、県、市町村、消防団等の関係機関と熊野川総合水防演習を実施	実施中 ・平時からの情報共有と連絡体制の構築し、防災訓練等の実施している。 ・R4.5.28 国、県、市町村、消防団等の関係機関と熊野川総合水防演習を実施	実施中 R4.5.28 国、県、市町村、消防団等の関係機関と熊野川総合水防演習を実施	実施済 R4に近畿地整、和歌山県、関係市町村等と連携し、熊野川総合水防演習を実施。	実施中 ・平時から、水防団（消防団）との情報共有を行うとともに、連絡体制も整備済。 南海トラフ地震を想定とした防災訓練を実施予定。（11月5日） ・R4.5.28 国、県、市町村、消防団等の関係機関と熊野川総合水防演習を実施	実施中 ・平時から自衛隊、消防団等と情報共有を行っている。 ・R4.5.28 国、県、市町村、消防団等の関係機関と熊野川総合水防演習を実施	実施中 R4.5.28 国、県、市町村、消防団等の関係機関と熊野川総合水防演習を実施	実施中 津地方気象台が毎年開催している「防災情報みえ連絡会」において、報道機関を含む関係機関に対し、防災情報の普及・理解の促進を図っている。	実施済 熊野川総合水防演習の実施	－	－	－
43	水害対応版BCP作成、企業に対する作成支援	応用	継続的に実施	▼企業へのNo4の情報も含めた水害リスク、防災行動計画等の情報提供	○	●	●	●	○	●	●	－	○	－	－	－	未実施 ・水害リスク情報の空白域の解消に向け、洪水予報河川や水位周知河川以外の一級河川及び二級河川の洪水浸水想定区域図を作成後、関係市町村に提供予定 （河川課、防災企画課）	実施済 企業へのNo4の情報も含めた水害リスクの情報提供	実施中 洪水ハザードマップ等の情報提供	未実施 －	未実施 検討中	実施中 継続的に実施中。	未実施 －	－	－	実施中 災害情報普及支援室を通じて実施中	－	－	－
44	地域防災計画の被災者支援の検証（避難所生活、仮設・復興住宅及び避難所用地の確保等）	基礎継続	継続的に実施	▼被災者支援の取組事例の収集・共有、▼支援内容の検討	○	●	●	－	○	●	－	－	○	－	－	－	実施中 ・避難所生活について県で市町村向け「避難所運営マニュアル作成モデル」を作成し、市町村を支援 （防災企画課）	実施済 被災者支援の取組事例の収集・共有、地域防災計画の修正（支援内容等）	実施中 被災者支援の取組事例の収集・共有等	－	実施中 市町の防災会議に出席し、市町防災計画の策定に関する支援・協力を行う。	実施中 仮設・復興住宅用地を整備中。	－	－	－	実施中 県市町の防災会議において、県市町防災計画の策定に関する支援・協力を行う	－	－	－